

特集

太陽系外惑星系に名前をつけよう[1]

国際天文学連合天文普及室の取り組みについて

縣 秀彦、柴田幸子、Cheung Sze-Leung（国立天文台／IAU 天文普及室）

1. まずは「天文クラブ」登録を！

1995年にペガサス座 51 番星において系外惑星が初めて発見されて以来、2014 年 11 月 5 日現在、その数は 1,849 個にもものぼります（The Extrasolar Planets Encyclopaedia: <http://exoplanet.eu/> による）。これらのほとんどは天文学研究用の装置によって発見されていますので、彗星や小惑星のように天文愛好家が発見に関与することは僅かです。

しかし、系外惑星に勝手に名前をつける動きや、命名権を売ろうとする動きなどが外国では起こっています。これらの不当な活動を抑制する必要性もあり、国際天文学連合（IAU）では、組織的に系外惑星に名称を与えることにしました。

初回の今回、命名される候補惑星系は、2008 年 12 月 31 日までに論文で発見が伝えられた候補天体から、存在がほぼ確定したと思われる 260 の惑星系（305 惑星）です。この中には日本人が発見に関わっている惑星も数多くあります。

名称を提案できるのは、今年（2014 年）12 月末までに IAU にクラブ登録が完了した各国の天文サークル、天文同好会、天文部などのグループです（ここでは「天文クラブ」と総称することにします）。天文クラブには学校や職場のクラブ、サークル単位なども登録可能です。ただし、個人では応募できません。

2. 惑星系に名前を付けよう！

予定では、2015 年 1 月に IAU がすでに提示している惑星系リスト（260 系）の中から、天文クラブ毎に「命名したい惑星系」をイン

ターネット上で投票します。上限はありますが複数の系に投票可能です。その結果、投票数が多かった 20～30 程度の惑星系に名前を付ける作業に進みます。

IAU が 1 月中に提示する 20～30 の惑星系の中から、各天文クラブは 1 惑星系のみ選んでその名前を 2 月中に提案できる予定です。惑星系の名前とは、恒星の名前とそのまわりを回る個々の惑星の名前です。例えば、3 つの惑星が見つかっている惑星系では、恒星の名前と個々の惑星の名前の計 4 つの名前をセットで提案してもらいます。

そして、登録した人なら誰でもが個人で参加できるインターネット上での投票によってこれらの太陽系外惑星系の名称が決まります。

この名称については、2015 年 8 月 3 日から 14 日まで、ハワイ州ホノルルにて開催される国際天文学連合総会によって発表される予定です。詳しくは IAU のウェブページや、日本語でサポートしている、日本天文協議会 IAU 太陽系外惑星系命名支援 WG のウェブページをご覧ください。

IAU 惑星系命名サイト

<http://nameexoworlds.org/>

惑星系命名 日本語情報サイト[1]

<http://exoplanet.jp/>

3. IAU 天文普及室の紹介

2012 年、現 IAU 会長の海部宣男さんの肝いりで IAU 天文普及室（OAO : Office for

Astronomy Outreach) が国立天文台に設置されました。

OAO の使命は、文字通り天文学の普及活動です。コミッション 55 と協力して CAP (Communicating Astronomy with the Public) 国際会議をほぼ 2 年毎に実施したり、CAP ジャーナルやニュース・レターを編集・発行したり、さまざまなアウトリーチ活動や天文学に関するサイエンスコミュニケーション活動を、発展途上国対象のみならずグローバルに実施しています。

今回、IAU に天文クラブ登録をすると、系外惑星系の名称を提案できるのみならず、IAU が実施する天文学のアウトリーチやサイエンスコミュニケーションに関する様々な情報を得ることが出来るようになります。後述する IYL2015 (国際光年) のような国際キャンペーンやイベント・会議等の案内です。また、各天文クラブの活動のようすや主催イベントの紹介を海外に発信できるようになることも天文クラブ登録の大きなメリットではないでしょうか。

OAO には 2014 年 4 月から元香港大学の Sze-leung Chung (張師良 チャン・シーリョン) がコーディネータとして着任しています。さらに来年からはもう一人スタッフが増える予定です。また、縣、柴田ほか国立天文台天文情報センターが OAO 活動をサポートしています。

4. おまけ 国際光年 2015 も盛り上げよう

2013 年、国連とユネスコは 2015 年を “the International Year of Light (IYL2015)” とすることを決議しました。これは、2005 年の世界物理年や 2009 年の世界天文年同様、人と科学との間の関わり、すなわちサイエンスコミュニケーション活動を全世界的に振興するための施策です。

2014 年 3 月、IYL2015 の中心団体である国際照明委員会 (CIE) からの要請により、IAU もこの記念年の事業主体の一員に加わることとなりました。IAU の国際アウトリーチ事業全般を OAO が担当しており、IYL2015 事業のうち「宇宙からの光」に関わる国際事業は OAO が中心となって企画・実施しています。国際光年 2015 の活動については、<http://www.iau.org/iyl/> をご覧ください。

注 釈

- [1] 日本天文協議会 IAU 太陽系外惑星系命名支援 WG のウェブページは主に当会 (天文教育普及研究会) の太陽系外惑星系命名支援 WG が中心となって運営しています。



In association with
ZOO NIVERSE

惑星系に名前を！

公式サイト <http://nameexoworlds.org>

日本語サイト <http://exoplanet.jp> (日本天文協議会)

私たちの太陽系の外には、恒星のまわりを惑星がまわる太陽系外惑星系がたくさん存在しています。1995年の最初の発見以来、何千もの太陽系外惑星(系外惑星)が発見されてきました。これらの系外惑星は符号で呼ばれていて、親しみやすい名前がありません。いま、世界中のみんなで名前を決めるキャンペーンが始まっています。まずは学校やクラブ、地域の仲間とウェブサイトに登録して命名に参加しませんか？ あなたが名前をつけた惑星系にもしかしたら生命がいるかもしれません。

2014年7月

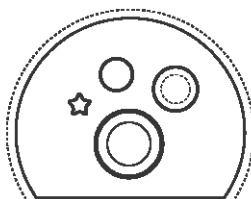
命名対象の候補となる系外惑星305個が、国際天文学連合(IAU)より発表されました。これらは2008年12月31日までに発見された、よく特徴がわかっている惑星です。



ORGANISATIONS
REGISTER

2014年10月

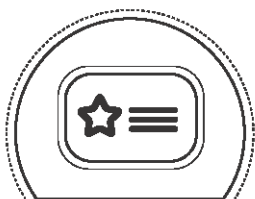
惑星系の名前を提案するための団体登録が始まりました。2014年12月までに登録した団体が名前を提案することができます。



ORGANISATIONS
PICK EXOWORLDS
TO BE NAMED

2015年1月

IAUが提示したリストの中から、登録団体が、命名したいと思う惑星系に投票します。投票数が多かった20から30の惑星系に名前をつけることになります。



ORGANISATIONS
SUGGEST NAMES

2015年2月

登録団体が、惑星系の名前を提案します。惑星系の名前は、恒星とそのまわりをまわる個々の惑星、それぞれの名前のセットを指します。命名のルールに従って提案して下さい。1つの団体が提案できる惑星系は1つだけです。



PEOPLE VOTE THEIR
FAVOURITE NAMES

2015年4月

それぞれの惑星系に提案された名前への一般投票が始まります。投票は、登録を行えば誰でも個人で参加できます。

2015年8月

米国ハワイ州ホノルルで開催される第29回IAU総会(2015年8月3日~14日)にて、命名された惑星系の名前が正式に公表されます。